

学びと経験を未来へ歩み出す糧に

国学院大学では、令和4年度(131期生)に大学院73人(博士前期課程68人、博士後期課程5人)が修了を迎え、14人が所定単位修得退学となった。5学部では2302人(文学部783人、経済学部526人、法学部474人、神道文化学部181人、人間開発学部338人)3年次卒業・9月卒業を含む)、専攻科では26人、別科では3人の合計2418人が学びを修め、それぞれの未来へ向かい本学を旅立った(人数は3月14日時点)。

大学院学位授与式が3月18日、渋谷キャンパス百年記念講堂で行われ、5学部と専攻科・別科の卒業式は同19日にグランドプリンスホテル新高輪「飛天」(東京都港区)で挙行された。卒業証書、学位記、修了証書の各授与式は渋谷キャンパス・たまプラーザキャンパスでそれぞれ行われた。卒業生たちは、恩師や友人らと集い、思い出話などに花を咲かせ、学び舎を後にした。

針本正行学長はじめ機関長らは、コロナ禍に直面し、学びの在り方が激変する中でも勉学に向き合った修了生・卒業生をたたえた。同時に、コロナ禍を経験したからこそ、新たな時代へ前向きに歩みを進めてほしいと旅立ちを祝し、エールを送る。

そして、3月末で定年退職を迎える教職員は11人。キャンパスでの思い出を振り返り、「惜別の言葉」を寄せた。

輝く未来を言祝ぐ

学長 針本正行



ご卒業おめでとうございます。所定の課程を修めて、新たな道へと旅立つ皆さんの輝かしい未来を心から祝ひたいと思います。

21世紀の技術革新はめざましく、大量のデータが瞬時に処理できるようになり、人工知能の開発と普及が進みました。これまで人間が行ってきたことを機械やロボットが代行するようになった一方、人間にしかできないことは何か、さらには人間であるからこそなすべきことは何かなど、社会のさまざまな場面で人間の存在意義や在り方が問われています。また、今般、全世界を襲った感染症の災禍は、デジタル技術の普及に拍車をかけ、産業構造や就業形態にも

大きな影響を与えました。「会社」に就職するのではなく「職」に就く、文字通り「就職型」の人材が求められ、その人の能力・資質が厳しく問われるようになっていきます。

皆さんは、大学生活の大半をコロナ禍と共に過ごし、時に過酷な制約を受けつつも、多様な授業形態によって学びを深め、学び合い、課外活動などを通じて学生生活の充実を追究してきました。困難な状況にあってもあらゆる学びに誠実に対峙してくださったことに深く感謝いたします。

変貌し続ける社会へ旅立つにあたり、将来に漠然とした不安をもつこともあるでしょう。しかし、未知の課題に挑み、主体的に知を探索し、仲間と切磋琢磨した経験は、皆さん一人ひとりの中に、新たな力を醸成しているはずです。この先にある困難な課題もきっと解決できると信じています。

これからも学びを止めることなく、生涯にわたって学びを深め、新たな「知」の獲得に挑み、輝く未来をひらかれることを期待します。

みはるかすもの

国学院の第1回卒業式が行われたのは、明治26(1893)年7月7日のことだ。卒業生は本科生9人をはじめ選科生26人など36人だった。それから実に130年。第1期生から現在まで、16万人以上が本学から巣立っていった▼卒業式・修了式当日には、学生たちが卒業証書や修了証を手で恩師や友人と記念写真を撮影する姿や、再会を誓って別れを交わす姿がキャンパスにあふれる▼多くの方にとって、本学が人生で通う最後の学校となるのではない。晴れやかな笑顔で会話を交わす卒業生たちを見る度に、本学で過ごした時間が、かけがえのないもの

になってくれただろうかと思う▼学び舎を後にする皆さんは、これから困難に直面する時も、自らの人生に思い悩む時もあるだろう。だが、本学での学びや経験が、きつと歩みを進める糧となってくれるはずだ▼同時に、今日まで皆さんを応援してくれた周囲の方々も、そんな困難に幾度も直面しながら人生を歩んできている。あるいは、困難の最中にも皆さんに心配をかけまいとおくびにも出さずにいたかもしれない▼既に感謝の気持ちは伝えていると言われているだろうか。だがこの先、学生生活を支えてもらったことのありがたさを、今より強く感じる瞬間がきっと訪れる▼その時には、ぜひもう一度、家族や恩師、友人たちに感謝の言葉を伝えてほしい。131期生の皆さんのご多幸をお祈りしたい。

卒業おめでとう

凜として立ち向かう人生を

大学院委員長 佐藤 長門

国学院大学大学院博士前期課程修了者68人、後期課程所定単位修得者14人、そして博士号取得者5人の皆さん、おめでとうござい

ます。人びとの生活を一変させた新型コロナウイルス感染症は、発生から3年にしてようやく収束の兆しがみえてきました。しかし、昨年は1月から北朝鮮の弾道ミサイルが頻繁に日本海へ飛翔し、2月24日にはロシアによるウクライナへの軍事侵略がはじまり、7月8日には選挙演説中の安倍晋三元首相が奈良市内で銃撃され亡くなるなど、きな臭い出来事が続いた一年でもありました。大恐慌や世界大戦、巨大企業に

よる支配と貧困、核兵器の脅威などを経済思想史の立場からまとめたジョン・K・ガルブレイスの『不確実性の時代』が日本で出版され、ベストセラーになったのは1978年のことでした。それから約半世紀の時がすぎましたが、彼が警告した諸問題はほとんど改善されることなく、覇権主義国家の横暴や世界規模の人口爆発、地球温暖化による気候変動など、人類を苦しめる危険因子はむしろ増えているといつてよいでしょう。現代の不確実性を乗り越える試みは、残念ながら遅々として進んでいません。現代社会をリードしている大人たちが動かないのなら、若い皆さんが変えていくしか



ありません。さまざまな情報（先行研究）を集め、それらを整理して課題（研究テーマ）を設定し、各種データ（資料）を分析して解決策（新見解）を提示する。皆さんはその方法論を、すでに大学院で学んでいるはず

です。不確かな時代を迎えても、それに飲み込まれることなく、学問で身につけた「知恵」を唯一の武器に、凜として立ち向かう人生を歩んでいくべきです。期待しています。

一步一步、前向きに

文学部長 矢部 健太郎

この4年間で、世の中は大きく変わりました。その主たる要因が、2020年に襲来した新型コロナウイルスという災禍であったことは言うまでもありません。さまざまな行動制限などに思いを馳せれば、時としてネガティブな感情に襲われても仕方ないでしょう。

しかし、コロナ禍の期間、失われたものばかりだったのでしょうか。私は、そうは思いません。例えば、企業の働き方改革が進み在宅勤務という選択肢も容認され、朝夕のラッシュはやわらいだように思いますし、オンラインによる効率的な会議や授業、学会などは、まさに「時空を超えて」人々

を繋ぎました。

将棋の藤井聡太さんが史上最年少でタイトルを獲得したのは2020年7月、いまや五冠です。圧倒的な歌唱力と「うっせえわ」を引っさげ、Adoさんが彗星のごとく現れたのは同年10月。メジャーリーグで「Two-Way Player」＝

「二刀流選手」がルール上定義されたのも2020年、それを初めて適用された大谷翔平選手が、史上初の満塁でリーグMVPに選出されたのは2021年でした。そして、記憶に新しいサッカーW杯での日本代表の激闘。まさか、日本がドイツ、スペインを破って、首位で決勝トーナメントに進むとは。コロナ禍にあっても歩み



止めず、着実な努力を一つ一つ積み重ねた多くの人々が、私たちにさまざまな「新しい景色」を見せてくれたのです。

長い人生、苦しいこと辛いことは日常的にあります。しかし、一步一步前向きに進めば、必ず試練は乗り越えられます。自分の「幸せ」だけにこだわらず、自分の周辺の「小さな幸せ」をも見逃さない眼を持ち、「新時代」を生き抜いてください。ご卒業、誠におめでとうございます。

恒心なくして恒産なし

神道文化学部長 西岡 和彦

ご卒業おめでとうございます。本学での学修をいしづえに、希望ある未来へ羽ばたかれんことを、心より祈り申し上げます。

みなさんの多くは、大学生活の大半を、コロナ禍のなかで過ごされたのではないのでしょうか。そうした苦境を乗り越えてこられたのだから、これからもきつと力強く生きてゆけるはずです。

本居宣長の『玉鉾百首』に、世のなかには よごともがこと ゆきかはる 中よぞちぢの 事はなりづる

という道歌があります。世の中は良いこともあれば、悪いこともある。それには因果関係もあります。時には天照大御神ですらどう

しようもない不運に襲われることもあります。そのようなことは、皆さんの人生経験からすでにお気付きのことでしょう。ところが、新たな良きことは、そうした困難や苦しみを経たあとにきまつて出てくるものなのです。もちろん、その間に周到な準備をしておくことが肝心です。

そこで、そのひとつを自省の念を込めてご提案したいと存じます。孟子はかつて、民衆とは「恒産なくして恒心なし」と説きました。安定した収入がなければ、平素から正しい心を保てない、ということです。ごもつともなお説と思います。しかし、「二宮尊徳翁は、その逆の「恒心なくして恒産



なし」と説きました。すなわち、平素から正しい心を養っていないければ、たとえ安定した収入が得られても、心に隙間が生じて、今までの苦労やさまざまな御恩を忘れて傲り高ぶり、挙げ句の果てに自壊するだろう、と戒めたのです。

では、平素から養うべき正しい心とは何でしょうか。今日まで工夫してこられた皆さんなら、すでに見つけているのではないのでしょうか。まだなら、きつと見つけられるはずです。期待しています。

自ら道をひらく

人間開発学部長 成田 信子

ご卒業おめでとうございます。国学院大学を卒業し、社会に羽ばたく131期生の皆さんに心よりお祝いを申し上げます。

皆さんは義務教育9年間に加え、高等学校、大学へと進学し、学び続けてきました。これまでの長い学びの期間はある意味で社会に出ていく助走のようなものです。それぞれのなかに蓄えられた力がまさにこれから発揮されようとしています。

近年、教育の分野では「主体性」について語られる場面が増えています。例えば子どもたちが授業で学んでいる姿が「主体的」かどうか議論されることがありま

す。授業は一定の狙いのもとに行われますから、教師が想定した枠組みのなかで「主体的」に取り組んでいることがよいとされることもあります。しかし実は子どもたちの学びはいつも教師の想定をはるかに超えています。一見関係のないような事柄が出されたり、逆に問題解決の道筋がなかなか見

出せなくて停滞したりします。今までなら「主体的」ではない、と考えられていたさまざまな学びの姿がかえって学び手自身の成長の過程を示し、それこそが「主体性」だと考えられるようになってきたのです。

子どもたちの学びに限らず、大



学での講義や課外活動での経験も、その人にとっての意味がひらかれていったかという文脈で考えられることが重要です。誰かにとって都合のいい「主体性」ではなく、その人自身にとって意味のある「主体性」です。皆さんのなかに蓄えられた「主体性」が社会においてますます磨かれ、発揮され、自らの道をひらくことをおいに期待しています。

卒業おめでとう

新たなスタートに際して

経済学部長 星野 広和

「ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。」

皆さんはコロナ禍における卒業式を迎えています。遠隔授業の実施やクラブ活動などの制限が生じましたが、皆さんはその大きな制約や苦勞を克服し、見事に成長されました。しかしながら、卒業式をもって成長が終わるわけではありません。英語で卒業は「graduation」ですが、卒業式（学位授与式）は「commencement」と呼びます。卒業というと「終わり、終了」のイメージがありますが、commenceの語源は古フランス語の「始める、開始する」という意味です。学びに卒業はありません。今日を境に、新たなスタート

を切ってください。

それでは、皆さんが新たに踏み出す社会はどのような社会でしょうか。経営学者であり社会生態学者でもあったP・F・ドラッカーは、2020年以降に本格的な知識社会が到来すると予想しました。IoTや人工知能AIの発展、そしてSociety 5.0の実現が急速に進む現代社会から分かるように、知識社会では「知識」つまり使える知識や生きた知識が求められます。言い換えれば、今後の社会の中心は「カネ」ではなく、知識を持った「ヒト」であり、各人が自ら生産性を高める工夫を考え、自分の強みを発揮しながら仕事に励み、仕事を通じて自己達成



する必要があると思います。それ故、自ら考え行動し常に学修する姿勢は今後さらに求められます。

もちろん、現代社会では人々が単独で仕事をすることは不可能です。専門的な知識をもった人々が組織をつくり、連携しながら働く必要があります。皆さん自身が常に変化し続けるように、そして仲間と協力して成果を上げるよう今後も学びを継続してください。何よりくれぐれも身体に気をつけてください。ご卒業おめでとうございます。

新しい世界における「対話」と「妥協」のすすめ

法学部長 一木 孝之

「ご卒業おめでとうございます。ご入学来の学修の成果に対し、深く敬意を表します。」

未曾有の疫病蔓延がまだまだ続く中、ひととひとのつながりは、以前にも増して尊重され、新たなコミュニケーションのあり方に関する模索が続いています。いまや、出社と残業を前提とする勤務とは異なる、在宅やテレワークを基礎とする働き方の提案がなされ、家族間の意思疎通も、環境に応じて変化しつつあります。かくして、世界のありようは決定的に変容し、時代は新しい局面を迎えました。そのような中で、社会生活や経



済活動における「対話」の重要性は、これまで以上に増しつつあります。物理的な接近が困難な状況では、各人が状況を客観的に観察し、最適な行動について思考すること、そのうえで複数の方針の統合を図り、妥協な協力を確立することが、いっそう求められています。その意味において、「妥協」はむしろ、社会における円滑な行動のための原理とすら言えます。そして、その際に最も大切なのは、冷静で論理的な意見交換であり、話者の技量が成否の鍵となります。

大学での4年間の学修を通じて、皆さんは、論理的な思考と説得のための修練を重ねてきました。さらに、大学生活の初期において、従来とは決定的に異なる制約の中で、いままでにない表現方法の可能性に接近しました。これらは、今後の社会人としての活動にとって重要な能力となるはずです。皆さんはいま、変革した社会の入り口に立っています。新たな生活では、自分の足場をしっかりと確かめ、前を向き、いまの自分たちにできることを少しずつ進めてください。皆さんのこれから的一步が、必ず未来を形づくることになるのですから。

学びを礎に社会変化への決断を

専攻科長 石井 研士

専攻科を修了された皆さん、おめでとうございます。1年間という短い期間でしたが、集中して自身の濃い時間を過ごされたと思います。1年間で多くの講義と祭式を修了するというハードな期間でしたから、専攻科の同僚とも協力

的で親密な関係を築かれたと思います。専攻科での交わりは、生涯にわたって続くと考えています。現在、神職や神社を取り巻く環境は大きく変化しています。過疎化・限界集落化が進行し、従来の氏神信仰が保持しづらくなっています。加えて、地方では人口が減少し高齢化が著しく進んでいます。都市は都市で人口の流動化か

ら氏神との関わりが希薄化し、著名な大社に参拝が集中する傾向にあります。

近年著しく進んだ情報化はどうでしょうか。私たちはもうスマートフォンを手放した生活はできなくなっています。しかし神社でのホームページの普及率は2割ほどで、一般の中小企業での普及率を大きく下回っています。神社でもホームページは当たり前になり、SNSを利用した教化が進み、キヤッシュレス決済も常態化するのでしょうか。

他にも気候変動への対応、少子化や高齢化をどうするか、脱炭素社会への取り組みなど従来とは違



った、しかも重大な社会的問題に神職や神社は直面しています。神道の基本に立ちながら、自らが態度を決めなければならない時期が到来しています。

専攻科を修了される皆さんが、ここで学んだことを十二分に消化して自らの礎とし、変化の激しい社会に向き合っていることを願っています。皆さんのいっそうの弥栄を期待してやみません。

学びを足がかりに持続可能性の追求を

別科長 黒崎 浩行

修了を心よりお祝い申し上げます。3年前に広がりはじめた新型コロナウイルス感染症の影響が、昨年ないし一昨年に入学された皆さんの学修、実習生活の全般をすつぽりと覆っていたことでしょ

う。さまざまな不便、不自由があったことと推察します。それでもくじけず真剣に取り組み続けた結果、修了の日を迎えられたことを讃えます。

修了の次の日から、それぞれの神社での奉仕の日々が始まることと思います。皆さんはそれまでに

も実習を重ねてきて、社頭では、氏子さん、参拝者さんから神職と



て他者を活かすことを忘れてはならないでしょう。

江戸時代末期、飢饉・災害に苦しんだ関東・東北の農村を立て直すため、「報徳仕法」を説いた二宮尊徳は、「至誠」「勤労」「分度」「推譲」を強調したとされます。

今日、SDGs（持続可能な開発目標）に代表されるように、世界の「持続可能性」が求められています。他者とともに自分も生きる持続可能な道を、本学での学びを足がかりとし、神社を拠点として追求していた

令和4年度学生部長賞が決定 学長特別賞に成績優秀2学生



学長特別賞

国学院大学は、令和4年度学長特別賞を2人に、学生部長賞を3団体と19人に贈った。学生部長賞の表彰式は3月6日に渋谷キャンパスで行われ、宮内靖彦学生部長（法学部教授）から賞状が授与された。学長特別賞の表彰は3月19日の卒業式とあわせてランドプリンスホテル新高輪（東京都港区）で行われる。

学長特別賞は、「国学院大学成績優秀者奨学制度」で3年連続表彰され、令和4年度の成績最優秀者となった西松里紗さん（神文4）と鳥羽菜々美さん（経ネ4）が受賞した。西松さんは「日々の研さんと教職員の方々のサポートのおかげ。大学での学びを通して物事の多面性に気づき、人と接する際にも相手の言葉の背景を考えるようになった」、鳥羽さんは「4年間、物流や経済格差、環境問題について興味をもって学べた。小さな積み重ねが受賞に繋がった。周囲の人にも感謝の気持ちでいっぱい」と語った。各賞を受賞した団体・個人は別表の通り（敬称略）。

部門	受賞者	受賞理由
個人	西松 里紗（神文4）	「国学院大学成績優秀者奨学制度」3年連続表彰（令和4、3、2年度成績最優秀者）
	鳥羽 菜々美（経ネ4）	「国学院大学成績優秀者奨学制度」3年連続表彰（令和4、3年度成績最優秀者・2年度成績優秀者）

学生部長賞

部門	受賞者（団体）	受賞理由
団体	ソフトテニス部（女子）	令和4年度関東学生春季リーグ戦 2部優勝、1部昇格
	アルティメット部	第33回全日本大学アルティメット選手権大会 オープン部門3位・ウィメン部門3位
	スポーツチャンバラ部	第29回スポーツチャンバラ全日本学生選手権大会 女子団体3位
個人	小谷野 拓哉（法4）	国家公務員採用総合職試験合格
	畠山 湧気（日文2）	第37回全国書き初め展覧会 文部科学大臣賞
	廣部 太一（健体2）	第13回全国大学ビブリオバトル 優勝
	西 宥珠菜（外文2）	JFNラジオCMコンテスト2022～ラジオに乗せて、学校アピール～ 最優秀賞
	峯岸 真悠（経営4）	公認会計士試験合格
	後藤 颯太（健体1）	男子第41回全日本学生柔道体重別選手権大会73kg級 優勝
	押領司 龍星（経営4）	男子第41回全日本学生柔道体重別選手権大会90kg級 準優勝
部門	受賞者（団体）	受賞理由
個人	中西 大翔（健体4）	第34回出雲全日本大学選抜駅伝競走 4区区間賞
	青木 瑠郁（健体1）	第54回全日本大学駅伝対校選手権大会 5区区間賞
	武内 夏暉（健体3）	東都大学野球秋季1部リーグ 最高殊勲選手賞
	楠茂 将太（法4）	東都大学野球秋季1部リーグ 最優秀投手賞
	田中 大貴（健体2）	東都大学野球秋季1部リーグ 首位打者賞・ベストナイン賞
	下田 好輝（史4）	第56回全日本学生選抜インドアソフトテニス選手権大会 準優勝（男子ペア）
	黒須 証暉（神文2）	
	中村 薫（法3）	全日本ヨーヨー選手権大会 フリースタイル競技4A部門優勝、ジャッジ特別賞
	久保田 茜（日文2）	第73回関東学生ソフトテニス選手権大会（ダブルス）優勝
	原 千晴（中文2）	
団体	西松 里紗（神文4）	学長特別賞に記載
	鳥羽 菜々美（経ネ4）	学長特別賞に記載

「国学院大学学報」購読のご案内

本学の機関紙を定期購読してみませんか？

「国学院大学学報」は、本学の学生・院友・教職員の活躍や、本学のニュースをお届けする機関紙（年11回発行、8月は休刊）です。

年間購読料は500円（税込み・送料含む）。また、感想などもはがき・封書・FAX・Eメールにて随時募集しております。卒業を迎える皆さまで、購読ご希望の方は、二次元コードからお申し込みいただくか、広報課までご連絡ください。

お問い合わせ先

国学院大学総合企画部広報課

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

【電話】03・5466・0130（直通）

【FAX】03・5466・0528

【メール】kouho@kokugakuin.ac.jp

【HP】https://www.kokugakuin.ac.jp/



法学会懸賞論文 5人が受賞

見事に受賞した学生と一木学部長（後列右から3人目）



令和4年度の法学会懸賞論文表彰式が3月3日、渋谷キャンパスで行われた。この懸賞論文は法律・行政・政治に関するテーマで法学部学生が執筆した論文を対象。今回は応募32本（法律系16本、政治系16本）から、法学部教員による厳正な審査の結果、最優秀賞1本、優秀賞1本、佳作3本が選ばれた。式では一木孝之法学部長（教授）が「学部での学びの中で皆さんが手にした武器をこの先どう生かしていくかも考えてほしい」と述べ、受賞者に賞状と副賞を手渡した。審査員を代表し、菊田真司教授が「皆さんの論文は題材と異なる専門の教員からも高評価だった。研究者でも難しいことだ」と講評し学生をたたえた。受賞者は次の通り（敬称略）。

◆最優秀賞Ⅱ▽田中幸多（法3）「ドイツ帝国と第一次大戦―ドイツ外交から見た開戦原因についての一考察」

◆優秀賞Ⅱ▽愛澤美穂（法4）「私文書偽造罪の再構成―本名以外の名称の使用をめぐる」

◆佳作Ⅱ▽岩井拓海（法4）「ウクライナ危機と生存戦略―脅威均衡論と中小国の主体性」▽鈴木康太（法3）「被告人の防御権行使から考える訴因制度」▽森川颯太郎（法3）「日本型司法取引制度」の検討」

所属別131期卒業生・修了生数（3月14日時点）

◎大学院◆博士前期課程修了
◇文学研究科59人▽神道学・宗教学専攻10人▽文学専攻30人▽史学専攻19人◇法学研究科▽法律学専攻4人◇経済学研究科▽経済学専攻5人◆博士後期課程修了◇文学研究科5人▽神道学・宗教学専攻0人▽史学専攻3人◇法学研究科▽法律学専攻0人◇経済学研究科▽経済学専攻0人◆博士後期課程所定単位修得退学◇文学研究科12人▽神道学・宗教学専攻2人▽文学専攻6人▽史学専攻4人（3年時卒業3人を含む）▼

4人◇法学研究科▽法律学専攻1人◇経済学研究科▽経済学専攻1人（大学院合計87人）
◎学部（9月卒業含む）◆文学部783人▽哲学72人▽史学科220人▽日本文学科295人▽中国文学科64人▽外国語文化学科132人◆経済学部526人▽経済学科193人▽経済ネットワーク学科171人▽経営学科162人◆法学部▽法律学科474人▽法律専攻399人（3年時卒業3人を含む）▼

法律専門職専攻32人（同2人を含む）▼政治専攻43人（同1人を含む）◆神道文化学部▽神道文化学科181人◆人間開発学部338人▽初等教育学科110人▽健康体育学科129人▽子ども支援学科99人（学部合計2302人）
◎専攻科▽神道学専攻科神道学専攻26人（専攻科合計26人）
◎別科▽神道専修Ⅰ類1人▽神道専修Ⅱ類2人
〔総計2418人〕

博士号の授与

大学院博士後期課程 5人が課程博士号

大学院博士後期課程を修了する5人に対して、博士号が授与される。対象者氏名、学位の種類、論文題目、主査、副査などは別表の通り。

(敬称略)

氏名	学位	論文題目	主査	副査
伊藤 新之輔	博士 (民俗学)	卯月八日行事の研究	小川直之教授	大石泰夫教授 服部比呂美准教授
顧 偉長	博士 (文学)	中国語を母語とする日本語学習者の日中同形異義語における誤用を減らすための学習法 —日中同形語の対照情報を学習者に提示する方法を用いて—	諸星美智直教授	小田勝教授 菊地康人教授
高橋 亮一	博士 (歴史学)	「北方海域」をめぐる明治期日本の海洋進出—ラッコ・オットセイ猟業を中心に—	樋口秀実教授	神長英輔教授 櫻井良樹兼任講師
埴岡 悠希	博士 (歴史学)	高橋悠治の音楽思考—1960年代から1980年代までの形成と変遷—	小池寿子教授	西村清和・東京大学名誉教授 中川克志・横浜国立大学准教授
椋本 (石隈) 聡美	博士 (歴史学)	鯉絵と歌川派の浮世絵—江戸後期の鯉絵と報道—	藤澤紫教授	小池寿子教授 藤澤茜兼任講師・神奈川大学准教授

新卒業・修了生の資格取得人数（3月14日時点）

令和4年度卒業・修了生（9月卒業含む）のうち、各種資格を取得した人数は次の通り。
◆神職▽明階検定合格・授与27人（学部・大学院）▽明階検定合格・正階授与110人（学部・専攻科）▽正階検定合格・授与2人（別科神道専修Ⅱ類）▽権正階検定合格・授与1人（別科神道専修Ⅰ類）◆博物館学芸員126人（学部）◆社会教育主事1人（学部）◆図書館司書67人（学部）◆学校図書館司書教諭20人（学部）◆教職▽高校一種329人（学部）▽中学校一種251人（学部）▽小学校一種128人（学部）▽幼稚園教諭一種115人（学部）▽特別支援学校25人（学部）▽保育士81人（学部）▽高校専修16人（大学院）▽中学専修14人（大学院）

若木育成会が成績優秀者表彰

若木育成会（森伸一会長）は、令和4年度卒業・修了生で優秀な成績を修めた次の学生を表彰する（敬称略）。
※は3年次卒業
◆文学部▽佐藤友迪（日文）、後藤佑梨（外文）、千葉可絵（史）、山口真央（哲）◆経済学部▽石田駿（経）、大北拓典（同）、芳賀葵（同）、佐藤裕海（経営）◆

法学部▽岩井拓海、小谷野拓哉、加藤雷基※、馬目隆雅、松本優、松山晃大※◆神道文化学部▽西松里紗、人見結愛◆人間開発学部▽久保田結菜（初教）、佐々木綾子（同）◆専攻科神道学専攻▽鈴木健紀、松原瑛孝◆別科神道専修Ⅱ小針千音（別科Ⅱ）、濱砂幸太郎（同）

神社界からの表彰

神職課程に学び、成績優秀な令和4年度卒業・修了生に対して神社界から次の各賞が贈られた（敬称略）。
◆神宮大宮司賞▽鈴木健紀（神専攻）▽鱸なつみ（神文）▽山本愛貴（同）◆神社本庁統理賞▽中島美華

（神専攻）▽佐竹崇史（神文）▽高橋龍矢（同）▽小針千音（別科Ⅱ）◆東京都神社庁長賞▽中嶋盛一（神専攻）▽福田陽名大（神文）▽佐藤教通（同）▽濱砂幸太郎（別科Ⅱ）

「卒業おめでとう」がきます

大学院の新修了生・所定単位修得退学者には、本学から「オリジナル図書カード」と「オリジナル一筆箋」、学部・専攻科・別科の新卒業生・修了生には、本学から「オリジナルペンケース」、若木育成会からは、「オリジナル名刺入れ」を贈ります。



国学院大学 院友会

へようこそ！

国学院大学の同窓会

国学院大学の卒業生は、「院友」と称され、一般財団法人国学院大学院院友会（吉田茂穂会長）昭和40卒・73期政経、昭和41修・74期神専攻の会員となります。

令和5年3月1日現在、会員の総数は16万人を超えています。また、全ての都道府県に支部があり、合計59支部を数えます。他に学術関係、マスコミ関係、経済学部関係、



法学部関係と職域などに分かれた4つの協力団体もあります。本会の活動は、母校の設立趣旨を発揮し、本会の発展と母校の隆昌に寄与することを目的としています。これらを達成するため、本部では各種講座、講演会、コンサートなどを主催し、全国の各支部でも公益事業などを展開しています。また、同窓会報である「院友会報」の発行、院友相互の交流を深める「院友大会」や「新年院友交歓会」を行っています。さらに、院友の活動拠点となる「院友会館」の運営も行っています。

卒業式当日には、院友会からお祝いとして、オリジナルラベルのミネラルウォーターを各キャンパスでお配りいたしました▼写真。

国学院大学院院友会の歩み

明治20年「水穂会」結成が原点

●創設の頃
明治15年に国学院大学の母体・皇典講究所が設立され、20年にその卒業生が「水穂会」を結成したのが院友会の原点です。23年に「国学院」が皇典講究所の教育機関として設置され、27年にその卒業生によって「水穂会」とは別に「院友会」が組織されました。その後、2つの会が共に活動するようになり、神職関係の「教友会」も昭和7年に加わり、「院友会」として統一されています。

●院友会館と財団法人の設立
院友の団結は強く、各地・職域で活発な活動が続けられました。昭和6年には財団法人となり、7年には初代会長・宮西惟助氏の推進によって建築された「院友会館」は本会活動の拠点となり、卒業生・在学生・教職員の会合などにも盛んに活用されました。その後、第9代・小林武治会長のもと62年4月には現在の新会館が竣工しました。

●地域発展の使命を
新しい会館の完成とともに、全国の院友の間に組織の強化・活動の活発化への新たな息吹がみなぎり始めました。会館は、院友の活動拠点としてのみならず、学術・文化・芸術活動の場としても利用され、若い世代の会員の協力により、本会が飛躍発展する機運が興り始めました。さらに、国際交流や学術・文化教育への振興・助成活動に力を注ぐ計画も資する使命を発揮しています。

本会の活動などは、院友会HP（<https://www.kokugakuin.or.jp/>）やTwitterをのぞいてください。

院友会事務局
☎03・3400・7781

i

インフォダイジェスト

校 友 課

◎住所変更したら連絡を

卒業後に住所・氏名・電話番号・メールアドレス・勤務先などに変更があった場合は、はがき・メール・電話・FAXまたは国学院大学HP（卒業生⇒住所変更などのご連絡）で校友課に連絡をお願いいたします。

◎各種調査・個人情報について

本学が電話・郵便物などで院友の皆さまの個人情報について調査する場合は、「渋谷キャンパス所在地および国学院大学校友課名」で実施し、返送先・連絡先は校友課となります。本学と一般財団法人国学院大学院友会（以下、院友会）は院友の皆さまの個人情報を共同で利用させていただいており、各種発送物が届出住所に配達できない場合は校友課および院友会から電話にてお問い合わせする場合がございます。郵便物・電話などで不審な点がございましたら回答せず、校友課までお問い合わせください。

図校友課

（☎03・5466・0131、FAX03・5466・0185、soumu-kouyu@kokugakuin.ac.jp）

学 生 生 活 課

◎日本学生支援機構奨学金を返還する方へ

日本学生支援機構（JASSO）奨学金の貸与者は、次の要領で返還を円滑に行ってください。

- 住所・氏名・勤務先・連帯保証人などに変更があった場合は、速やかにJASSOへ連絡してください。その際は奨学生番号が必要となりますので、「返還確認票」「返還のてびき」を大切に保管してください。
- 返還困難な状況が生じた場合、JASSOに減額返還や返還期限猶予を願い出ることができますのでJASSOに相談してください。

※上記の手続きは、スカラネット・パーソナルで可能です。問い合わせは下記相談センターへ

図日本学生支援機構奨学金相談センター

（☎0570・666・301〈ナビダイヤル〉）

就職担当3課（キャリアサポート課・教職センター・たまプラーザ事務課）

◎卒業後もご協力を、進路未定者は相談を

新卒業生の皆さんには、進路の別を問わずに学生の就職活動支援（OB・OG訪問など）にご協力をお願いします。また、進路未決定の方には継続して相談に応じ、教員求人は卒業後も紹介しています。お気軽にご利用ください。

図キャリアサポート課（☎03・5466・0151）

教職センター（☎03・5466・0152）

たまプラーザ事務課（☎045・904・7707）

教 務 課

◎証明書の発行方法

各種証明書の発行方法は、①学内の証明書自動発行機（在学当時の学籍番号とパスワードを使用）②郵送③窓口④コンビニエンスストア発行ーの4通りです。①は即時発行、②③は原則として申請日から5業務日後の発行（郵送の場合は発送）、④については本学HP（卒業生⇒証明書発行）に詳細を掲載しています。英文成績証明書は約1週間後の発行または発送となります。

※休業期間や行事、機器メンテナンスなどで発行・発送に時間を要する場合がありますので、余裕をもった申請をお願いします

※申請時には身分証明書（健康保険証や運転免許証など）が必要となります。氏名などに変更があった場合は申請時に戸籍抄本(写)を添えてください

料①～③は1通500円（郵送発行は別途送料）

④は1通600円（別途印刷代1枚60円）

図教務課（☎03・5466・0135）

たまプラーザ事務課（☎045・904・7721）

エクステンション事業課

◎オープンカレッジを開講しています

エクステンション事業課では、生涯学習の場として、神道・文学・歴史などの講座によるオープンカレッジを開講しております。令和5年度は全講座対面で、実技講座「書道」を含めた計24講座開講い

たします。

院友には、入会金5000円を3000円とする割引制度があり、オープンカレッジの会員には、当課主催の各種講座をご案内いたします。この機会に、ぜひパンフレットをご請求ください。

図エクステンション事業課（☎03・5466・0270）

図 書 館

◎卒業後も図書館を利用できます

卒業後も渋谷・たまプラーザ両キャンパスの図書館を利用（館内での閲覧、館外貸出、文献複写）できます。貸出冊数は和・洋書ともに5冊、日数は14日間です。遠方にお住まいの方で文献複写が必要な場合には、文書による申し込みも可能です。

図書館カウンターで申し込むと、翌年4月末まで有効の「図書館利用者カード」（両館で使用可）を発行します。

図図書館事務課（☎03・5466・0159）

※カード発行には、運転免許証など現住所を確認できる身分証明書が必要です

人 事 課

◎格安料金で自然を満喫 厚生寮をご利用ください

国学院大学では、卒業生に対して厚生寮を格安料金で開放しています。

▶叢隠寮（神奈川県箱根町）

叢隠寮は故折口信夫（釈迢空）博士の別荘であった叢隠居を昭和33年に大学が譲り受け、これを保存するとともに宿泊施設を増築しました。寮には良質な温泉もあり、四季折々に変化する自然の中にある快適な保養所となっています。平成30年度に全面的な改築工事を行いました＝写真。

料1泊2食付き9000円（入湯税含む）

※チェックイン15時、チェックアウト10時

図利用日の1カ月前から人事課（☎03・5466・0105）で受け付けます。詳細は本学HPで案内しています。

▶蓼科寮（長野県立科町）

蓼科高原にあり、夏は近くにある御泉水自然園の散策、冬はスキーと四季折々の自然を満喫できます。また、敷地内にはバーベキュー棟もあり、多人数で楽しめます。

料1泊2食付き4000円（冬期は暖房費を別途加算）

※チェックイン15時、チェックアウト10時

図利用日の1カ月前から人事課（☎03・5466・0105）で受け付けます。詳細は本学HPで案内しています。

総 務 課

◎広くご寄付を募っています

学校法人国学院大学では、私学としての公共性と独自性ある教育研究体制を確立するため、広くご寄付を募っています。本法人に対するご寄付は、専用用紙による申し込みとインターネット上でクレジットカード決済による申し込みが可能です。利用可能なクレジットカードは、VISA、MasterCardの2種類です。

募集するご寄付の種類は、「学生・生徒等の奨学基金」「学生・生徒等の活動支援」などに加え、学生の課外活動を支援するために役立てられる「課外活動支援（スポーツ強化部会など）」や「メッセージ募金」を設けています。「メッセージ募金」は、スポーツ活動や課外活動などに熱心に取り組んでいる在学生や本学に向け、本学HPからメッセージを投稿してもらおう仕組みです。ワンコイン（500円）からご寄付が可能で、メッセージはそのままHPに公開されます（匿名可）。ぜひ後輩にエールをお寄せください。

各種募金に関する情報は、本学HP（<https://kifu.kokugakuin.ac.jp/>）で閲覧できます。

◎税制上の優遇措置

本法人への指定寄付金は、次の通り税制上の優遇措置を受けることができます。

個人＝個人所得税については、特定公益増進法人への寄付金としての「所得控除」、または一定

要件を満たした学校法人などへの寄付金としての「税額控除」のうち、いずれかの税制を寄付者が選択し、確定申告を行うことで所得税が減免されます。なお、多くの場合「税額控除」を選択すると減免が大きくなります。個人住民税については、お住まいの自治体が条例により本法人への寄付を税額控除の対象と指定している場合に限り、確定申告を行うことで住民税が減免されます。

法人＝特定公益増進法人に対する寄付金として扱われ、所定の計算式に基づく限度額まで該当事業年度の損金に算入することができます。寄付金の申し込みと納付が確認できましたら、本法人発行の領収書と文部科学省発行の証明書をお送りしますので、確定申告などの税務手続きを行ってください。

◎受配者指定寄付金

日本私立学校振興・共済事業団が取り扱う制度で、この制度を利用して私立学校へ寄付をした企業等法人は、法人税法上、支出した寄付金の全額を損金の額に算入することが認められています。

◎遺贈による寄付制度

「遺贈による寄付」とは、院友・在学生の父母・教職員・一般篤志家が保有されている資産の一部を、将来遺贈の形で寄付していただき、本法人の教育研究活動のより一層の充実発展のために支援をいただく制度です。

本法人では、この制度を実施するにあたり、三井住友信託銀行・三菱UFJ信託銀行と協定を結んでいます。本制度の利用を希望される場合は、総務課または最寄りの協定金融機関までご一報ください。

図総務課寄付金担当（☎03・5466・0111）

入 学 課

◎院友子弟等特別選考のご案内

国学院大学では、院友の子弟らを対象とした「院友子弟等特別選考」を実施しています。

本選考は、本学の学部、大学院、専攻科、別科などを卒業・修了された方の2親等以内の親族（配偶者、姻族を含む）であることが出願資格の1つとなります。その他の出願資格の詳細は、毎年5月下旬ごろに発行する「入学案内」に掲載しています。本学HP（<https://www.kokugakuin.ac.jp/admission/documentrequest>）からご請求ください。本学への進学を希望する親族の方がいらっしゃいましたら、本選考をご案内ください。

図入学課（☎03・5466・0141）

国 学 院 大 学 生 協

◎卒業アルバムの購入受け付け中

大学生協では現在、卒業アルバムの購入を受け付け中です。先にお送りした郵便振替用紙（渋谷・たまプラーザ店舗でも配布中）か郵便局備え付けの郵便振替用紙をご利用いただき、通信欄に、学部・学科・学籍番号・郵送先住所を明記の上、郵便局の窓口でお振り込みください。5月12日(金)までお振り込みを受け付け、11月ごろの発送になります。

※ご父母の方などが購入された場合、「卒業生本人が写っていない」と連絡が寄せられることがあります。写真撮影をされているか確認した上でお申し込みください

料1万3500円（消費税・送料込み）

図振込先（加入者名）・口座番号＝国学院大学生生活協同組合・00150-6-501528

◎オリジナルスイーツや人気グッズはいかが？

大学生協では、オリジナルスイーツの「国学院どらやき」（1550円）とコロパンとの企画による「国学院クッキー」（18枚入1380円、33枚入2580円）や、ぬ



左から、国学院どらやき、「こくびょん」グッズ、ブルゾンやキャップなどの本学オリジナルグッズを販売しています。配送も承っています。

図国学院大学生生活協同組合（☎03・5466・0169または<https://www.kgucoop.or.jp>）